

環境経営レポート

中村建設株式会社

2024 年度

(対象期間 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)



発行日： 2025年4月1日

更新日：

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	
組織の概要	
事業の紹介	
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	
主な環境負荷の実績	
環境経営目標及びその実績	
環境経営計画の取組結果とその評価	
環境経営計画の取組結果とその評価	
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	
緊急事態対応訓練	
代表者による全体の評価と見直し・指示	



2023年6月に本社を新社屋に移転しまし

環 境 経 営 方 針

株式会社中村建設 環境経営方針

株式会社中村建設は、経営理念の一つである「地域社会への貢献」に沿って、地球環境問題と事業の発展を両立させる建設活動に努めます。

1. 事業活動に伴う環境負荷の低減に努めます。

※(1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減

(2) 水使用量の削減

※(3) 廃棄物排出量を削減

2. 建設事業を通じて環境改善に努めます。

(1) 環境に配慮した、低騒音・排ガス対策型機械を使用します。

(2) 事務用品等のグリーン商品を購入する。

3. 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。

4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知します。

5. 環境経営システムの継続的改善を図ります。

※：最重要実施項目

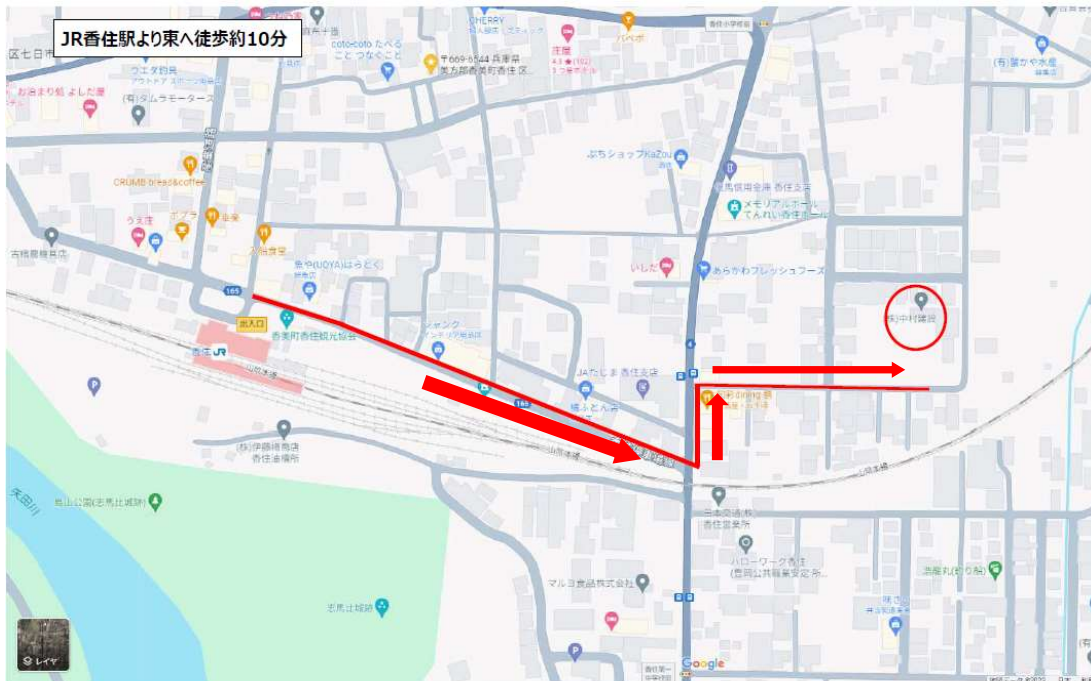
改定日：2021年 5月31日

制定日：2020年10月21日

株式会社中村建設

組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
中村建設株式会社
代表取締役 中村 裕二
- (2) 所在地
本 社 兵庫県美方郡香美町香住区香住779-1



- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 専務取締役 中村 厚史
環境管理担当者 総務部長 高橋 勝巳
- (4) 事業内容
土木一式工事業
建築一式工事業
一般貨物自動車運送業

- (5) 事業の規模
売上高 4000 万円 (2024/1~2024/12)

従業員	45名(2024/1/1現在)
延べ床面積	700m ²
敷地面積	1022m ²

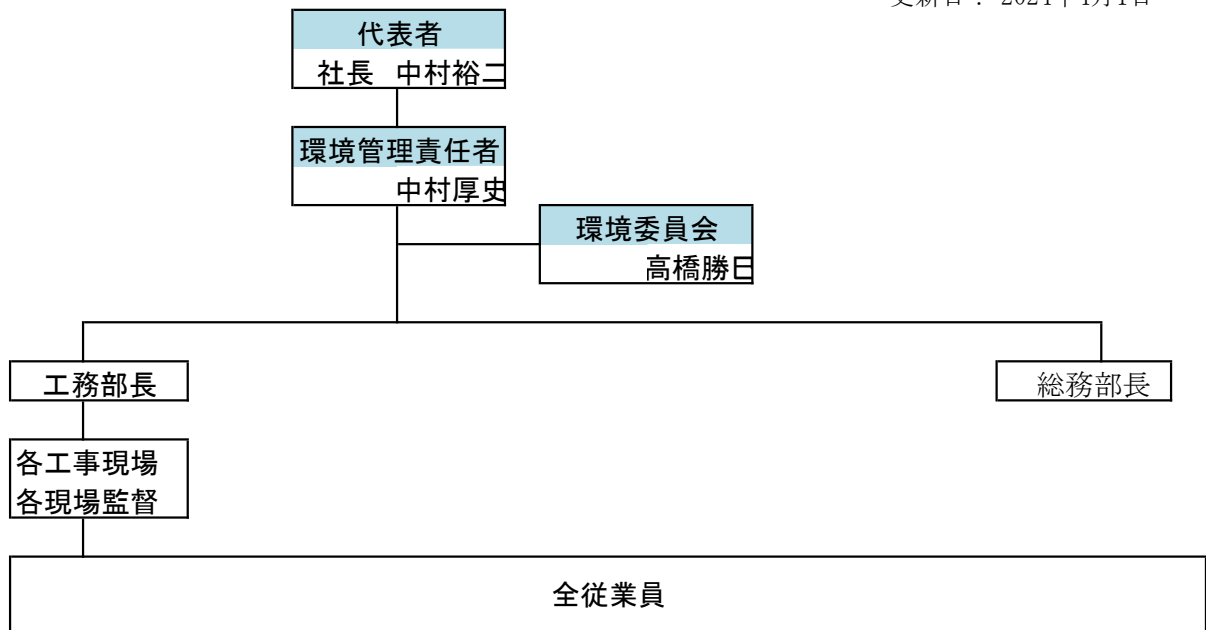
- (6) 事業年度 2024年 1月 1日 ~ 12月 31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 中村建設株式会社
対象事業所 : 本 社
各現場事務所

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年4月1日



【役割・責任・権限】

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③環境経営目標、環境経営レポートを承認する ④資源（人・もの・金）の用意をする ⑤エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境委員会	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境方針、自部門の環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する環境関連法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所の環境目標、活動計画の達成と実績の把握を行う

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂			
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	1	1	
産業廃棄物排出量	トン	241	268	
水使用量	m ³	517	479	
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.311	0.311	0.311
※2021年度のデータは期初から期の途中まで		関西電力	関西電力	関西電力
※負荷の実績は工事現場を含む				

kg-CO₂/kWh

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み 環境経営目標及びその実績

年 度		2023年	2024年		評 価	2025年	2026年
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	59,211	58,618	78,213		56,842	56,250
	基準年度比	—	99%	133%	×	96%	95%
	kg-CO ₂	18,414	18,230	24,324		18,046	17,678
	基準年度比	—	99%	133%	×	98%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減 (ガソリン)	L	45,709	44,795	16,099	○	44,338	43,881
	kg-CO ₂	106,045	103,924	37,349	○	102,863	101,803
	基準年度比	—	98%	36%		97%	96%
	L	344,808	337,911	186,518	○	334,463	331,015
自動車燃料による二酸化炭素削減 (軽油)	kg-CO ₂	799,954	783,955	481,215	○	775,955	767,956
	基準年度比	—	98%	61%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計 kg-CO ₂		924,413	906,109	542,888		896,865	887,436
一般廃棄物の削減	kg	1,085	1,074		×	1,063	1,052
	基準年度比		99%	#VALUE!		98%	97%
建設廃棄物リサイクル率の向上	%	93%	97%		○	110%	90%
水道水の削減	m ³	953	943	687	○	877	858
	基準年度比		99%	72%		92%	90%

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画					取組結果とその評価							
電力による二酸化炭素削減					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標					×	今年度の上半期は、新社屋に移動した関係で電気委の使用量などが前年度上半期と比較ができない状態でした。今後はこの数値が基準になります。下半期は、新社屋に移動してからの数値になるので目標の達成を目指す。						
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)					○							
・大型エアコンの定期点検					△							
・働き方見直しによる残業時間の短縮					△							
・作業・業務の見直しによる効率化					△							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	5,148	5,358	5,582	4,631	2,233	2,147	4,169	5,378	5,776	5,776	5,090	7,704
2024年	9,754	12,283	10,022	16,419	18,381	11,354	0	0	0	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減(ガソリン)					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標					×	第二四半期のガソリン購入量が昨年より少なかったため、改半期の合計は昨年より削減された。下半期に入ると、エアコンを使用する場面が多くなるため、燃費も悪くなる傾向にある。それを含めて、ガソリン購入量が削減できるようにしたい。						
・エコドライブの徹底					○							
・効率的なルートで配送					○							
・エリア別営業活動の見直し					△							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	5,133	38,944	5,638	6,509	4,110	5,437	6,345	6,217	5,761	5,880	6,509	6,335
2024年	6,885	7,422	5,929	6,511	4,950	5,651	0	2,534	0	0	0	0

自動車燃料による二酸化炭素削減(軽油)					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標						月別で二酸化炭素の発生量の削減を達成でている月はあるものの、それらの削減量を上回る量で二酸化炭素が発生している。神戸方面で受注した工事もあり、移動が長距離になるたんだと考えられる。その場合少しの注意で燃費等が大きく向上するので、その方法を広く周知し燃費が向上するよう努める。						
・エコドライブの徹底					○							
・効率的なルートで配送					○							
・エリア別営業活動の見直し					×							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	67,920	70,618	72,588	94,260	51,091	42,783	61,491	65,743	76,989	122,465	94,260	79,076
2024年	47,658	57,542	109,095		121,802	97,975	47,144					

一般廃棄物の削減					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標						新社屋への移動に際し、保管期限の終了した書類等を廃棄した為、昨年度は廃棄物量が増加したが、今年度はそのような廃棄物が増加する要因もないため例年並みに削減が可能なので進めていく。						
・分別の徹底					○							
・帳票見直しによる印刷物の削減					×							
・梱包材の再利用					○							
・持込ごみの見直し					△							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	94	84	89	89	84	74	84	89	89	89	89	99
2024年	95	90	90		85	80	80					

建設廃棄物リサイクル率の向上					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標						建設廃棄物の数量は、まとめ切れていない為未掲載						
・分別の徹底					○							
・再資源化先の開拓					△							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	90%											
2024年												

水道水の削減					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標					○	事務所での上水の使用量は、昨年度と変わりがないが、工事現場での使用量が昨年より多くなっている。このままだと昨年の使用量を大きく上回る。また夏を迎えるためさらに上水の使用量が増加すると思われるので、全社員に節水を呼びかけ上水の削減を促す。						
・節水シールの貼り付けとポスター掲示					○							
・自動水栓取り付け					○							
・トイレに擬音装置取り付け					○							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	77	80	101	86	124	63	67	60	73	56	86	68
2024年	80	138	62	0	184	114	110	0	0	0	0	0

グリーン購入比率の拡大					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
数値目標					×	昨年度と今年度は、それまでの消耗品や自事務用品の購入金額がそれまでより大きく上回っている。また、グリーン対応商品の購入金額自体も増加しているが、グリーン購入金額の増加量よりそれ以外の購入金額の増加が多いため、相対的にグリーン購入比率が下がっている。今後事務用品の更新が終了し、例年の購入状態に戻った際にどのように変化するか、見守る必要がある。						
・事務用品グリーン購入					○							
・省エネ性能の高い電気製品の購入					△							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	95	85	90	85	75	85	90	90	90	90	100	110
2024年	95	90	90	85	80	80						

年間活動計画					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
・環境方針・目標・活動計画の周知					○	年始あいさつ時、社長より報告						
・環境目標・環境活動進捗状況確認・評価					△	四半期毎に確認、評価済み						
・資格取得・更新のため研修会参加					○	適宜参加						
・定期的の実施（火災対応訓練〇月）					○	火災対応訓練8月参加						
・遵守評価前に環境関連法規等の追加、改					○	確認・変更なし						
・ICT施工の推進					○	ドローンによる起工測量。杭ナビの導入						
・振り返って方針・目標・活動計画等を見					○	見直し済み						
・作成と地域事務局への送付					○	完了						

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘もありません。また、法令違反並びに環境関連訴訟等は、1件も発生していません。

適用される法令等		主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1	廃棄物処理法	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理（法定記載事項、照合確認、5年間保存） 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
3	騒音規制法	特定建設作業は敷地境界線において、85dB(A)を超えないこと 特定建設作業の事前届出	遵守
4	振動規制法	特定建設作業は敷地境界線において、75dB(A)を超えないこと 特定建設作業の事前届出	遵守
5	消防法	道路工事の届出	遵守
6	フロン排出抑制法	事務所の空調、空調付き建設重機の点検報告と 点検記録簿の保管(3年間) 回収依頼書又は委託確認書並びに充填回収業者が交付した 引取証明書の3年間保存	遵守
7	建築工事に係わる資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	対象建設工事の届出 分別解体の実施と再資源化の完了報告 現場毎の標識の提示	遵守
8	自治体との災害時応援協定	災害発生時に応援派遣する人員・機材の確保点検	点検報告 実施済み
9	大気汚染法	特定粉じん排出等作業実施届の提出	遵守
10	労働安全衛生法（石綿障害予防規則）	作業場には、石綿等の使用の有無に関する調査終了日、調査方法、結果の概要を 特定粉じん排出等作業実施届出の提出 作業対象に石綿の有無の確認と、調査書の3年間の保存	遵守
11	自治体との災害時応援協定	災害発生時に応援派遣する	設備・ 体制確認

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している。

代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日: 2025年 4月 1日

代表者: 中村 裕二

作成者: 福田 幸一

見直し必要事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の必要性
環境経営方針	環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	環境経営方針は適切である	環境経営方針は変更しない	☐ 有り ☒ 無し
環境経営目標及び環境経営計画	環境経営目標・計画の達成状況は妥当か ・課題とチャンス ・二酸化炭素排出量削減 ・廃棄物排出量削減 ・水使用量削減、 ・製品・サービスの環境性能の向上	環境経営方針は適切である	環境経営方針は変更しない	☐ 有り ☒ 無し
その他の環境経営システム	・環境負荷の大きな変化 ・法規制等の遵守状況 ・教育・訓練の実施 ・外部からの苦情や要望 ・実施及び運用の適切性 ・緊急事態への準備状況 ・取組の確認並びに 是正処置の状況 ・環境経営レポートの作成と公表、活用状況	法規制の履行も適正で教育・訓練も適切に実施された。	法規制は新たに施行されるものがあるため、官報などを確認し猶予期間に対策を講じる等活動してください。	☐ 有り ☒ 無し
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	実施体制は効果的である	実施体制は継続する	☐ 有り ☒ 無し
代表者の指示事項	評価でも述べたが、今年度は全体的に数値が悪化している。いくつかの要因が考えられるが来年度以降改善に向かえるよう実行可能で			
代表者の総合評価※	・今年度の上期で、年間を通じての新社屋に関する電気使用量や水道使用量などが明らかになったと思う。これらを基にエネルギー使用削減計画を企画実行して欲しい。前事務所より延べ床面積が増え、空調関係の使用は多くなると思うが知恵を出して欲しい。			